

実世界情報実験1 心理学実験法 小テスト

~~マークシート~~の学籍番号欄を忘れずに~~マーク~~すること。授業コードの~~マーク~~は不要。

問 つぎの文を読み、問1～9の語句、文に該当する語を選択肢より選びなさい。

実験1：快適な室温の部屋よりも、やや寒い部屋のほうが事務作業効率は良い、との仮説を検証する実験を以下の手順で行った。外気温が31℃の夏場に、室温が26℃に保たれた部屋(F101)と、20℃に保たれた部屋(C301)のそれぞれで、100点満点の計算問題を被験者30名に解いてもらった。被験者は2つのグループ(AとB)に分け、Aグループの被験者は、F101で問題を解いたのちに、C301で問題を解いた。Bグループの被験者は、C301で問題を解いたのちにF101で問題を解いた。

つぎに、より多数の被験者による実験を行うため被験者200名を集めた。被験者は100名ずつ2つのグループ(CとD)に分け、Cグループの被験者は室温が26℃に保たれた部屋(F101)で、Dグループの被験者は20℃に保たれた部屋(C301)で計算問題を解いた。

実験2：部屋の設定温度を室内にいる人がスマートフォンで操作でき、複数の人がいる場合には投票された温度の平均で設定温度が定まるシステムの有効性を検証するため、Aグループの被験者にはこのシステムが導入された部屋で計算問題を解いてもらい、Bグループの被験者にはこのシステムが導入されていない部屋で計算問題を解いてもらった。

問1 実験1における部屋の温度

問2 実験1における部屋の広さ

問3 実験1における計算問題の得点

問4 実験1において、AグループとBグループで問題を解く部屋の順序を逆にすること。

問5 実験1における、AグループとBグループに分けた実験計画

問6 実験1における、CグループとDグループに分けた実験計画

問7 実験2におけるAグループ

問8 実験2におけるBグループ

問9 実験被験者に、実験について十分に説明し、事前に得る同意

選択肢： 0. 独立変数 1. 従属変数 2. 仮説 3. 剰余変数 4. カウンターバランス 5. 参加者間計画 6. 参加者内計画 7. 実験群 8. 統制群 9. インフォームド Consent

(裏もあります)

問 10 系列効果・順序効果の説明として適切なものを一つ選びなさい。

- 0. 複数の被験者が順番に一人ずつ実験する場合、被験者の順番によって結果が変化すること。
- 1. 複数の条件で行った実験の結果を解析するときに、どの条件から解析するかによって結果が変化すること。
- 2. 被験者の実験に関する知識が結果に影響すること。
- 3. 被験者が繰り返し測定を受ける場合に、実験への慣れ、疲れなどが結果に影響すること。
- 4. 実験を行った部屋の湿度や明るさなどが結果に影響すること。

問 11 正しい結果を得るためには、以下のどの変数の影響をなるべく小さくしなければならないか？

- 0. 独立変数 1. 従属変数 2. 剰余変数

以下の文が正しいか、正しくないかを答えよ。

問 12 心理学実験では、被験者の氏名、年齢、性別に加えて、利き手など結果に関係すると考えられる属性をなるべく多く取得し、これらを表にして、実験関係者全員で共有したほうが良い。

- 0. 正しい 1. 正しくない

問 13 実験の実施順序が結果に影響することを避けるため、順序はサイコロを振ってランダムに決めたほうが良い。

- 0. 正しい 1. 正しくない

問 14 実験においては、被験者が不利益を被らないように、実験の目的、被験者が行う内容、所要時間、謝金の有無と金額、実験参加により生じうるリスク、データを公表する可能性、プライバシー保護の方法について、事前に説明する必要がある。

- 0. 正しい 1. 正しくない

問 15 被験者は実験に関する説明を受け、それに同意した場合は、最後まで実験に取り組む義務がある。

- 0. 正しい 1. 正しくない